

# 「地域密着型金融推進計画」に関する進捗状況について

平成19年 5月15日

金沢信用金庫

## 全体的な進捗状況について

当金庫は、地域社会に貢献する企業として、「ふるさとの美しい発展」に寄与することを目指し、地域の皆様とともに創業以来99年の歴史を歩みながら、さまざまな活動を積み上げてまいりました。平成17年8月に発表した「地域密着型金融推進計画」におきましては、各機能強化の推進をスケジュールに沿って行い、主な目標項目は次の通り順調に進捗・達成することができました。

### 1. 「事業再生・中小企業金融の円滑化」について

- (1) 創業・新事業支援機能等の強化では、創業支援商品である「新進企営」の融資案件を認定する機関として、「サポートデスク委員会」を本部に設置した結果、「新進企営」の実績は29先、268百万円となり、数値目標である20先、200百万円を上回ることができました。また、金沢商工会議所主催の「創業塾」にも、審査・支援金融機関として参加する等積極的な展開により、創業・新事業に対する融資合計実績では124件、1,353百万円に達しました。
- (2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化では、平成17年10月に開催した当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」に引続き、平成18年10月には北陸地区信用金庫協会に加盟する全18金庫合同で、北陸最大級の商談会「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催しました。出展企業・団体数は三県で397社、フェア来場者約7,600名、当日の商談件数4,071件と予想を超える成果があり、ビジネスチャンスの創出等、地域経済の発展に寄与することができました。今後もビジネスマッチングを推進するため、継続的にフォローアップ、モニタリングを行ってまいります。
- (3) 事業再生に向けた積極的取組みとして、要注意先債権の健全債権化では、企業支援対象先139先全てについて経営改善計画書を策定する等、本部と営業店が一体となって経営改善に取り組んだ結果、債務者区分のランクアップを47先果たし（改善率34%）、数値目標の企業支援先改善率30%を達成することができました。今後とも経営支援室と支店長の帯同訪問による経営者への直接改善指導等を実施しながら債務者区分のランクアップにつなげてまいります。

事業再生では、RCC債権の肩代り融資を19先に行い、うち中小企業再生支援協議会等の機能を活用した先が5先ありました。数値目標の20先には届きませんでしたが、平成19年5月末にRCC・中小企業再生支援協議会・政府系金融機関等と連携した案件を含む3先の融資の実行を予定しています。更には、その他のRCC肩代り案件や中小企業再生支援協議会への相談案件も10数件あります。

また、「私的整理に関するガイドライン」に準じた事業再生により、地域経済の発展に繋がると判断された特定の地元中堅企業に対しDDS等の金融支援を行いました。

今後も様々な手法により、事業再生支援に取り組んでまいります。

- (4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進では、中小企業の資金調達手法の多様化への取組みとして、中小企業金融公庫と連携し、CLO（ローン担保債権）を活用した無担保・第三者保証人不要の融資「きんしんCLOビジネスローン」を平成18年9月から取扱い、件数、融資額ともに全国トップとなる110件、2,845百万円の実績を上げました。

第三者保証人不要の「サポートファンド保証」は294件、4,055百万円の実績となり、また平成18年9月から発売した無担保・第三者保証人不要の「ビジネス応援団」は183件、2,068百万円の実績を上げました。

担保・保証に過度に依存しない融資に対するニーズは高く、今後も積極的に推進してまいります。

- (5) 顧客への説明態勢の整備では、「顧客保護に係る与信取引説明態勢規程」に「取引等の適切性の確保」の状況を追加するなど、お客様の保護を第一に「説明責任」をより明確にしたものに改訂しました。

相談苦情処理機能の強化では、受付した苦情案件等について、各委員会で発生要因を分析し、未然防止、再発防止に努めています。

- (6) 人材の育成では、支店長・次長を対象とした「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格取得者目標100名に対し、114名の資格取得者になりました。更には新たに3名（計5名）が中小企業診断士の資格を取得する等、地域の中小企業の体質改善・強化に向けた支援・協力ができる態勢作りが進んでいます。

## 2. 「経営力の強化」について

- (1) リスク管理態勢の充実では、統合リスク管理として信用・市場関連・オペレーショナルリスクや有価証券の信用リスク、預貸金の金利リスクを計量化し、担当セクションにリスク資本の配賦を行いました。信用リスク管理では、与信ポートフォリオ分析が定着化し、常務会に定期的に報告しています。また、バーゼルⅡにおける信用リスク削減手法の適格要件定義確認等のデータ整備と「信用リスクアセット算定システム」の検証を行い、標準的手法で信用リスクアセット額を算出しました。
- (2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上では、「リスク調整後収益管理システム」を導入し、店・業種・格付別等のセグメント分析や個社別採算管理等を充実させました。また、与信業務や自己査定基礎を強固なものとするため、内部格付制度を導入しました。今後は、内部格付制度に基づく自己査定システムにより、随時査定の実施や信用リスクデータ算出の高度化を図ります。
- (3) ガバナンスの強化では、総代氏名のディスクロージャー誌への開示にあたり、個人情報保護法に留意し、「利用目的の同意」を得ることが出来ました。また、財務諸表の適正性及び財務諸表作成に係る内部監査の有効性を確認できる体制を構築し、内部統制の充実を図りました。今後は、内部統制をより強化するため、内部管理基本方針の整備・周知を図ります。
- (4) コンプライアンス態勢の強化では、代表役員が全営業店に半期に一度訪問し（合計3回）、役職員間のコミュニケーションを通じたコンプライアンスの直接指導を行いました。また、各種研修や臨店指導の実施等の他、外部コンサルタントによる役職員の意識や風土・組織などの診断により、コンプライアンス態勢の改善と強化に取り組みました。個人情報保護の安全管理体制は、概ね

整備されましたが、今後も不十分な点の改善を行い、全役職員に継続的な教育・研修を実施します。また、公益通報者保護法に基づいた内部通報制度規程を策定し、金庫内の公益通報者の保護を図りました。

- (5) ITの戦略的活用では、お客様の利便性や満足度を高めるとともに、業務の効率化、システム化、コストの適正化を図るため、平成18年9月より新システムを稼動しました。今後もお客様の保護に努め、ICカードの導入等を実施します。

### 3. 「地域の利用者の利便性向上」について

- (1) 地域貢献等に関する情報開示では、北陸地区の信用金庫・銀行で初めてISO14001の認証を取得し、環境に関する基本理念、基本方針である「環境方針」を公表しました。またISO認証取得の仲介業務や融資商品の内容を開示し、金融業務を通じたお客様の環境保全への取組みのお手伝いをしています。今後は企業の社会的責任としてのCSRの情報開示を行い、お客様にも分かりやすい情報の提供に積極的に取り組みます。
- (2) 地域のお客様の満足度を重視した金融サービスの提供では、調査委託会社である(株)ベンチャーリンク（東証一部上場）と提携し、昨年に引続き「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。その分析結果に基づき、当金庫が取組んだ改善策をホームページに開示します。また「ご意見箱」・「目やす封書」にて頂きました「お客様の声」に対する回答を営業店に掲示し、お客様のご意見を経営に生かし、ご満足いただけるサービスを提供できるよう業務の改善に努めてまいります。

以 上

# 【大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題】

金沢信用金庫

| 大項目              | 17年4月～19年3月の進捗状況   |  | 19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）  |
|------------------|--|--|---|
|                  |  | 18年10月～19年3月の進捗状況  |   |
| ①事業再生・中小企業金融の円滑化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業者・新事業者に対し124件、1,353百万円の融資を実行、創業・新事業支援に取り組めました。</li> <li>・「きんしんビジネスフェア2005」に引続き、北陸最大級の商談会「しんきんビジネスフェア北陸ビジネス街道2006」を開催、予想を超える来場者がありました。</li> <li>・企業支援先139先の全ての先に経営改善計画書を策定、経営改善指導を行い47先がランクアップしました。（改善率34%）</li> <li>・事業再生ではRCC債権の肩代りを19先実施しました。</li> <li>・支援対象先の事業再生計画に基づき、DDS等の金融支援を行いました。</li> <li>・中小公庫と連携し、「きんしんCLOビジネスローン」融資を取扱い、件数、融資額ともに全国トップの実績になりました。</li> <li>・経営改善セミナーを継続し、総勢114名が「経営支援アドバイザー」資格を取得しました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業者・新事業者に対し、30件、318百万円の融資を実行しました。</li> <li>・北陸地区の18信用金庫合同で「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催し、当金庫の成約件数は56件となりました。</li> <li>・企業支援先の経営改善計画書を49先策定、経営改善指導を行い20先がランクアップしました。</li> <li>・RCC債権の肩代わりを5先実施しました。</li> <li>・支援対象先の事業再生計画に基づき、DDS等の金融支援を行いました。</li> <li>・中小公庫と連携した「きんしんCLOビジネスローン」融資を取扱い合計が、107件、2,770百万円の実績になりました。</li> <li>・新任の支店長・次長の内37名が「経営支援アドバイザー」資格を取得しました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業者支援を継続し、地域社会の活性化に寄与します。</li> <li>・ビジネスマッチング活動の促進と継続を図るため、合同の「しんきんビジネスフェア」の継続開催を予定しています。</li> <li>・経営支援室担当者と支店長が帯同訪問し、経営実態の把握やモニタリング指導の実施、企業支援先の経営改善指導の強化を図っています。</li> <li>・今後も様々な手法により、再生可能と判断される先に対して事業再生に取り組めます。</li> <li>・無担保・第三者保証人不要の融資「きんしんCLOビジネスローン」は好評であり、今後も積極的に取り組みます。</li> <li>・114名が経営支援アドバイザーの資格を取得し、更には新たに3名（計5名）が中小企業診断士の資格を取得し、企業支援ができる態勢作りが進んでいます。</li> </ul> |
| ②経営力の強化          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・与信ポートフォリオ分析の運用態勢が確立しました。</li> <li>・統合リスク管理を導入し、各リスクに当該資本配賦を実施しました。</li> <li>・バーゼルⅡの実施に向け、システムの導入を決定しました。</li> <li>・リスク調整後収益管理システムを導入しました。</li> <li>・内部格付制度を導入しました。</li> <li>・内部監査の有効性についての確認態勢を構築しました。</li> <li>・代表役員によるコンプライアンスの営業店・本部への直接指導を実施しました。</li> <li>・外部コンサルタントによるコンプライアンス監査チェックを実施し、診断結果の報告会を行ないました。</li> <li>・個人情報保護の態勢を充実させました。</li> <li>・内部通報制度規程を定めました。</li> <li>・次期勘定系システムを導入しました。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーゼルⅡにおける信用リスク削減手法の適格要件定義確認等のデータ整備と当該システムの検証を行い、標準的手法で信用リスクアセット額を算出しました。</li> <li>・リスク調整後収益管理システムで業種・格付別等のセグメント分析が可能となりました。</li> <li>・信金中央金庫と連携し、信用リスク計量化（VaR）ソフトを正式に導入し、リスク分析の強化を図りました。</li> <li>・インターネット等外部接続用パソコンを設置し、金庫内LANと外部接続回線を分離しました。</li> <li>・お客様から為替データをFAXで受付するサービスを導入し、営業店事務の本部集中化を行いました。</li> <li>・代表役員によるコンプライアンスの本部への直接指導を実施しました。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業種別、格付別等セグメントごとのリスク調整後収益を分析します。</li> <li>・20年3月期における半期情報は、バーゼルⅡに対応した開示を実施します。また、自己査定システムを完成させ、より精緻な半期開示、四半期開示に向けた体制整備に努めます。</li> <li>・代表役員の全営業店・本部への訪問による役員直接意見交換の実施が一巡し、コンプライアンスに関する認識が高まりました。</li> <li>・個人情報保護に係る安全管理態勢は概ね整備が完了しました。</li> <li>・次期勘定系システムのコンセプトである業務の一線完結に向け、営業店事務の本部集中化を図ります。</li> </ul>  |
| ③地域の利用者の利便性向上    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ご意見箱」「日やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示しました。</li> <li>・環境方針等、環境保全に関する金融サービスの提供をホームページに開示しました。</li> <li>・地域貢献活動の内容をビジュアルに表現し、分かりやすくミニディスクロージャー誌に開示しました。</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全に関する金融サービスの提供をホームページに開示しました。（「エコリフォームローン」）</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境方針」に基づくさまざまな金融サービス等の提供に引続き努めます。</li> <li>・地域のお客様満足度を重視した金融サービスを提供する態勢を確立します。</li> </ul>  |